

総務部

委員長 小角 真治

木津高等学校

《総括》

総務部委員長の小角です。今年度は、部長に杉本憲一久御山高校校長をお迎えして、10名の委員で運営しました。今年度は改選1年目にあたり、競技力向上事業、調査研究事業、普及広報事業の3事業を担当する委員が考え工夫し事業に反映できるように新たな体制を構築ながら事務局と協力し、本連盟の円滑な運営と体育・スポーツの振興に取り組んできました。

中・高体連連携会議を開催し、懸案の低迷する高校生の運動部活動加入率の向上について意見交換し検討しました。加入率の変遷をみると劇的な上昇はないものの平成16年度と比べ男子で6.2ポイント、全体で3.5ポイント上昇していることがわかり、中高接続が機能していることが確認できました。引き続き女子加入率を向上させることは大きな課題の一つです。高体連新聞の中体連加盟校への配布や各専門部が主催する中高接続行事を啓発し、活発化させることでさらなる改善に向けたと考えています。

一般生徒対象事業については6の事業を実施しました。運動部加入生以外の生徒に対する事業は京都府高体連が自負する事業でもあり、今後も工夫を凝らし、継続していきます。

運動活動指導者研修会には、185名の参加いただきました。京都学園大学講師三浦重則氏を講師に招き「世界を見て」という演題で講演いただきました。スポーツは教育と文化との融合の中で、よりよい感性を育てる。など新鮮なスポーツ観をお聞かせいただきました。また、中体連から井手町立泉ヶ丘中学校男子バスケットボール部顧問岡田幸也先生が「努力は裏切らない」、高体連から京都市立紫野高等学校女子バスケットボール部顧問吉田聡先生が「紫野高校女子バスケットボール部の取り組み」をテーマに日頃の努力の大切さをお話いただきました。

平成25年度全国高等学校総合体育大会は、「2013未来をつなぐ北部九州総体」として4県（大分県、福岡県、佐賀県、長崎県）において開催されました。団体で優勝1を含む入賞22、個人で優勝14を含む75の入賞がありました。

その他の高等学校全国大会では、団体では入賞が2、個人では優勝6を含む13の入賞がありました。

また、全国高等学校定時制通信制体育大会では団体で1の入賞、個人では3の入賞がありました。

また、「スポーツ祭東京2013」として開催された第68回国民体育大会では少年種目での優勝6を含む64の入賞があり、府民の方々の期待に応えられたのではないかと思います。

本年度の活動に関しまして御理解と御協力いただきました各専門部、関係の先生方に厚くお礼申し上げます。また、平成26年度につきましても重ねてよろしくお願い申し上げます。

各事業につきましては、以下の通り行いました。

《事業》

1 総務部会の開催

[第1回]

期日：平成25年4月23日（火）

場所：ルビノ京都堀川

内容：(1)総務部運営規程改正について
(2)平成25・26年度総務部体制について
(3)平成24年度高体連事業報告・収支決算について
(4)平成25年度高体連事業計画・収支予算について
(5)京都府高校総体について
(6)理事会・評議員会について
(7)平成27年度全国高等学校総合体育大会について

[第2回]

期日：平成25年7月3日（水）

場所：京都府公館

内容：(1)全国高校総体等について
(2)全国高校総体等京都府選手団結団式について
(3)競技力向上事業について
(4)調査研究事業について
(5)普及広報事業について
(6)平成25年度近畿定通大会について
(7)平成27年度全国高校総体近畿ブロック大会について

[第3回]

期日：平成25年11月11日（月）

場所：ルビノ京都堀川

内容：(1)運動部活動指導者研修会の運営について
(2)各事業進捗状況と次年度の課題について
(3)新規加盟について

[第4回]

期日：平成26年1月21日（火）

場所：ルビノ京都堀川

内容：(1)平成25年度事業実施状況について
(2)平成25年度会計中間報告について
(3)平成26年度事業計画について
(4)平成26年度予算編成概要について

2 各事業

(1)競技力向上事業

- 各専門部強化策の検証事業
- 全国高校総体等京都府選手団結団式の開催
- 全国高校総体の府本部役員業務
- 京都府中学校・高等学校体育連盟連携会議の開催

(2)調査研究事業

- 全国高等学校体育連盟研究大会派遣
- 運動部活動指導者研修会
- 加盟校運動部活動実態調査

(3)普及広報事業

- 一般生徒対象事業の実施
- 高体連新聞の発行（第109、110号、111号）
- 高体連誌発刊 第53号（HP版）